第8回

震災研究連絡会



弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう。

日 時 2012年 3月 6日(火) 18:00~ 場 所 コラボ弘大1F コミュニティ・スペース

司会 上平 好弘(かみたい・よしひろ)弘前大学 地域共同研究センター

産学官連携コーディネーター

18:00~18:45

権垣 大助 (ひがき・だいすけ) 弘前大学農学生命科学部 教授 「東日本大震災における斜面災害の発生実態」

18:45~19:30

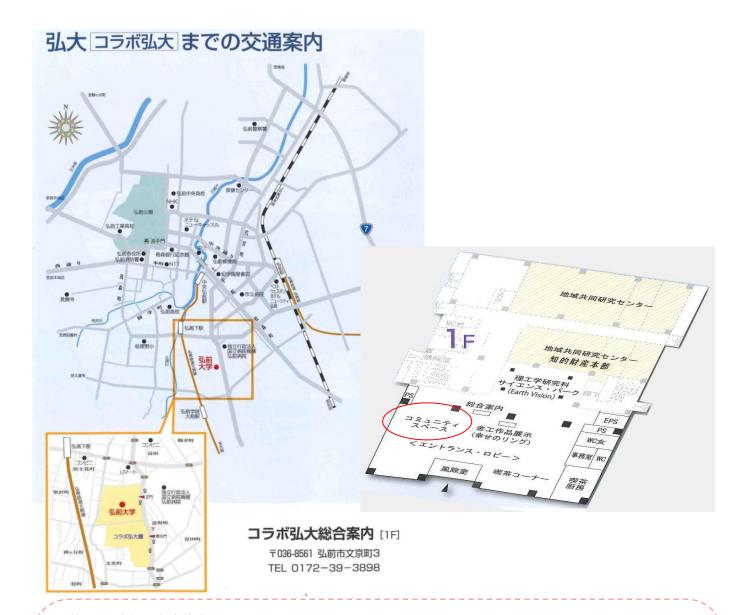
白石 陸弥 (しらいし・むつみ) 弘前大学特別研究員

「近世・近代における震災対応と復興

~東北の事例を中心に~」

19:30~20:00 意見・情報交換

- ※震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できます。
- ※当日2つの報告の後に、震災に関する情報・意見交換を行います。情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。
- ※連絡会終了後、有志の懇親会を予定しています。



第7回震災研究連絡会は、1月26日に行われた。

前半は、弘前大学地域社会研究科教授 檜槇貢先生による「津波被災時の住民行動と行政~八戸市調査から~」というタイトルでご講演頂いた。八戸市3カ所の災害避難所、聞き取り調査から見えた、津波が襲来し停電が起こった後、避難所でどのような活動が行われ、住民がどう行動したが丁寧に語られた。八戸地域での話であったので、地域特性が伝わりにくい所も、非常に解り易く解説して頂いた。後半は、弘前大学監事で青森県復興ビジョン策定懇話会座長 井口泰孝先生によるご講演。青森県が今回の被災を受け、どのような考え方で復興を目指すべきかを解り易くご講演頂いた。特に人工島で風力・太陽光発電しなが、津波の防波堤迄こなしてしまおうという、アイディアは非常に面白かった。(K)

第9回連絡会は2012年4月、コラボ弘大1Fのコミュニティ・スペースにて開催予定。

【連絡先】

弘前大学大学院地域社会研究科 檜槇貢研究室(教員室2)

Tel 0172-39-3938 (内線 3938)

Mail himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp